

学会発表の季節が近づいてきました

日本水産学会が、9月24日から27日に地元の京都大学で開催されます。

海洋センターは府の水産業が直面する様々な課題解決につながるものとして、「久美浜湾の養殖に関する研究」のほか、「ズワイガニの資源管理に関する研究」、「アカモク種苗生産に関する研究」、新たに京都府で発生した「下痢性貝毒に関する研究」の4つを発表します。また、併催されるシンポジウムにおいて、京都府のブランド産品である「丹後とりがい」の養殖についての講演も予定しています。

学会発表の内容は今後、府民・漁業者にわかりやすい言葉に置き換えて普及に努めていくものであり、当センターでは引き続き京都府の水産業の発展に貢献できる試験研究を推進していきます。



研究データ取得のようす
(左:久美浜湾での観測、右:ズワイガニの測定)